

○改元に寄せて

山本 純雄

平成の時代は、平成31年4月30日をもって終わり、5月1日から新しい時代「令和」が始まり、これに因んで、当支部では、時代の節目の記念となるようとの提案があり、支部員相互で、郵便を出すこととした。

その結果、私は、次のものを受け取った。全て、70%縮小コピー。

A はがき（速達郵便）

平成31年4月30日東京浅草局（？）受付印で、令和元年5月1日の植木郵便局の到着印で、いずれも、無論丸形日付印

B はがき（速達郵便）

平成31年4月30日人吉風景印と丸形日付印での人吉郵便局受付で、令和元年5月1日の丸形日付印での植木到着印

C 封書（速達郵便）

平成31年4月30日東京浅草局受付で、令和元年5月1日、植木局で、丸形日付印での到着印

その思い

私が支部員に宛てたはがきは、当初目的を達成したのもあればそうでないものもあった。人吉郵便局から差し出したはがきは、水俣市宛のものは目的通りで、熊本市宛のものは差出当日の平成31年4月30日に配達される結果となった。昭和生まれの自分にとって、改元は2回目となるが、切手を通じて、このようなことをしたのは初めてであり、次にまたできるかどうかは分からない。今回のことは、平成の時代から令和の時代への節目に立ち会った記憶として、ここに記し、これらの郵便物とともに終生、大切にしたいものである。本ページの最後に、祝令和の記念印付はがきを紹介して、締め括ります。

